

主題：命の木

メッセージ 10

キリストの中に住んでわたしたちとキリストとの有機的な結合を維持する

聖書・ヨハネ 14:23. 15:4-5. I ヨハネ 2:27-28. 3:24. 4:13. 啓 21:3, 22

- I. キリストの中へと信じるわたしたちは彼をわたしたちの主また救い主として受け入れ（ヨハネ3:16）、今やキリストの中にいます（I コリント1:30）。そしてキリストはわたしたちの中におられます（ガラテヤ2:20. II コリント13:5）。
- A. 「主はその霊です」（II コリント 3:17）。「その霊ご自身、わたしたちの霊と共に、……証ししていただきます」（ローマ 8:16）。「主に結合される者は、主と一つ霊になります」（I コリント 6:17）。
- B. この「一つ霊」は、わたしたちの人の霊の中に住む神聖な霊であり、これら二つの霊は有機的に結合され、共にミングリングされて一つ霊です。
- C. わたしたちと主との有機的な結合は、ヨハネ第 15 章におけるぶどうの木、すなわち命の木の枝によって例証されます。わたしたちは命のぶどうの木であるキリストの枝です！
- D. ぶどうの木の命が枝にあるのと同じように、ぶどうの木は枝を通して生きています。ですから、キリストはわたしたちの命であり、わたしたちは彼の生活です。
- E. わたしたちと主との有機的な結合、わたしたちの命の結合を維持するために、わたしたちは彼の中に住まなければなりません。それは彼がわたしたちの中に住むためです——4-5 節。
- II. キリストの中に住むことは、彼の中に住み、彼の中にとどまり、彼との交わりの中にとどまることです。それによってわたしたちは彼がわたしたちの中に住むことを経験し、享受します——I ヨハネ2:27：
- A. キリストの中に住むことは、神聖な三一の中に住むこと、すなわち、キリストをわたしたちの住まいとすることです——6 節, 24, 27-28. 3:6, 24. 4:13。
1. キリストの中に住むことは、御子の中に、また御父の中に住むことです（2:24）。これが主の中にとどまり、住むことです（ヨハネ 15:4-5）。
2. キリストの中に住むことは、神聖な命の交わりの中に住み、神聖な光の中を歩くこと、すなわち、神聖な光の中に住むことです——I ヨハネ 1:2-3, 6-7. 2:10。
- B. キリストにわたしたちの中に住んでいただくことは、神聖な三一と共に生きることです。すなわち、キリストの臨在をわたしたちの享受とし、彼にわたしたちと一となっていただき、わたしたちの存在のあらゆる部分と、わたしたちの生活のあらゆる部分と共にあるようにしていただくことです——マタイ 1:23. 18:20. 28:20. II テモテ 4:22. II コリント 2:10. 出 33:11, 14. I コリント 7:24。
1. キリストにわたしたちの中に住んでいただくことは、キリストの言葉をわたしたちの中に住まわせて、残る実を結んで御父の栄光を現すことです——ヨハネ 15:7-8, 16。
2. キリストにわたしたちの中に住んでいただくことは、三一の神の臨在としての実際の霊をわたしたちの中に住まわせることです——14:17。
- III. キリストの中に住んで、彼がわたしたちの中に住むために、ヨハネによる福音書はわたし

たちが彼をわたしたちの生活必需品としなければならないことを啓示しています：

- A. キリストはわたしたちの命です—— 14:6. 10:10。
 - B. キリストはわたしたちの命の息です—— 20:22。
 - C. キリストはわたしたちの命の水です—— 4:10, 14. 7:37-39。
 - D. キリストはわたしたちの命の光です—— 8:12。
 - E. キリストは命の中のわたしたちの住まいです—— 14:2, 23. 15:4-5。
- IV. わたしたちは、わたしたちの王また王の住まいとしてのキリストの中に住む必要があります。それによって彼はわたしたちの中に住み、わたしたちを彼の王妃、彼の宮殿、彼の栄光なる召会とすることができます——詩45:13, 8. ヨハネ15:4-5. エペソ5:27. 啓22:5. ローマ5:17. 参照、雅6:4：
- A. キリストの中に住むことは、わたしたちの主としての彼、すなわち永遠の神の中に住むことであり、彼の中でわたしたちの生活を持ち、彼をわたしたちのすべてとすることです——ヨハネ 15:4-5. I ヨハネ 4:15-16. 啓 21:22. 申 33:27 前半. 詩 90:1。
 - B. わたしたちは神の中に住み、毎分彼の中に住む必要があります。なぜなら、彼の外側には、罪と患難があるからです—— 3-11 節. ヨハネ 16:33。
 - C. 神をわたしたちの住まい、わたしたちの永遠の住まいとすることは、神に対する最高で最も満ち満ちた経験です——詩第 91 篇。
- V. わたしたちはキリストを愛することによって彼の中に住み、彼にわたしたちの中で住んでいただく必要があります——ヨハネ14:21, 23：
- A. わたしたちが主イエスを愛するとき、彼はご自身をわたしたちに現し、御父は彼と共に来てわたしたちと共に住まいを造り、わたしたちに享受させます。この住まいは相互の住まいであり、その中で三一の神はわたしたちの中に住み、わたしたちは彼の中に住みます—— 23 節。
 - B. わたしたちは主を愛せば愛するほど、ますます彼の臨在を享受し、ますますわたしたちは彼の臨在の中におり、ますます彼がわたしたちにとってすべてであることを享受します。主の回復は主イエスを愛することの回復です—— I コリント 2:9-10. エペソ 6:24。
- VI. わたしたちは、すべてを含む油塗りの内側の教えを顧慮することによって、キリストの中に住み、彼はわたしたちの中に住みます—— I ヨハネ2:27：
- A. わたしたちは主の血の清めを経験し、油塗る霊をわたしたちの内なる存在に適用することによって、神聖な交わりの中に住みます——ヨハネ 15:4-5. I ヨハネ 1:5, 7. 2:20, 27。
 - B. かしらとしてのキリストは、油塗られた方また油塗る方であり、わたしたちは彼の肢体であって彼を内なる油塗りとして享受し、彼の定められた御旨を成就します——ヘブル 1:9. 3:14. II コリント 1:21-22。
 - C. わたしたちの内側の複合の霊の動きと働きとしての油塗りは、神をわたしたちの中へと油塗ります。それによってわたしたちは神で浸透され、神を所有し、神の思いを理解します。油塗りは、命の内なる感覚、内なる意識によってからだのかしらとしてのキリストの思いを伝達します——詩第 133 篇. I コリント 2:16. ローマ 8:6, 27。
 - D. かしらはからだの肢体が動くことを願うとき、内なる油塗りを通してそれを開始します。そしてわたしたちが油塗りに服従するとき、命はかしらからわたしたちに自由に

流れます。もしわたしたちが油塗りに抵抗するなら、わたしたちとかしらとの関係は妨げられ、わたしたちの内側の命の流れは停止します——コロサイ 2:19. 使徒 16:6-7.

II コリント 2:13。

VII. わたしたちがキリストの中に住むのは、聖書の恒常的な言葉を取り扱うことによって、彼がわたしたちの中に住むためです。聖書はわたしたちの外側にあり、わたしたちの内側にあるその霊としての現在の言葉です——5:39-40. 6:63. II コリント 3:6. 啓 2:7 :

A. 外側の、書かれた言葉によって、わたしたちは奥義的な主の説明、定義、表現を持ち、内側の、生ける言葉によって、わたしたちはキリストが住み、実際の主の臨在を持ちます——エペソ 5:26. 6:17-18。

B. わたしたちが主の恒常的な、書かれた言葉の中に住むなら、彼の即時的で、生ける言葉がわたしたちの中に住みます——ヨハネ 8:31. 15:7. I ヨハネ 2:14。

C. わたしたちは彼の中に住んでおり、彼の言葉がわたしたちの中に住んでおり、わたしたちは彼の中で語り、彼はわたしたちの中で語って、神を人の中へと建造し、人をわたしたちの中へと建造します——ヨハネ 15:7. II コリント 2:17. 13:3. I コリント 14:4 後半。

VIII. わたしたちは、わたしたちの霊の中の命の霊の法則の「スイッチを入れる」ことによってキリストの中に住みます——ローマ 8:2, 4 :

A. 主がわたしたちの中に住んでおり、わたしたちが主の中に住むことは、完全に彼がわたしたちの中の命を与える霊である事柄です。わたしたちの霊の中の満ちあふれる、計り知れない霊によって、わたしたちは全き確信をもってわたしたちと神が一であり、わたしたちが互いの中に住んでいるということを知っています——I コリント 15:45 後半. ローマ 8:16. I コリント 6:17. ピリピ 1:19. ヨハネ 3:34. I ヨハネ 3:24. 4:13。

B. 力づける方としてのキリストの中に住んで、彼が内なる活動する神としてわたしたちの内側で活性化される方法は、常に喜び、絶えず祈り、あらゆることで感謝をささげることによります——ピリピ 4:13. 2:13. I テサロニケ 5:16-18. コロサイ 3:17. 4:2。

IX. わたしたちがキリストの中に住むのは、昇天において彼をわたしたちの秘密の場所とし、わたしたちの内なる隠れ場、わたしたちの逃れる場所、わたしたちの高い塔、わたしたちのとりで、わたしたちの霊の中のわたしたちの高いやぐらとして、わたしたちを邪悪な者からのあらゆる攻撃から守るためです——詩 91:1-4. 31:20. 18:1-2. 36:7. ヨハネ 14:30 :

X. わたしたちがキリストの中に住むのは、常に喜び、絶えず祈り、あらゆることで感謝をささげることによって、彼がわたしたちの中に住むためです。これがわたしたちに関する神のみこころであり、わたしたちがその霊を消さない方法です (I テサロニケ 5:16-19. 参照. II テモテ 1:6-7)。その霊を消さないことに加えて、わたしたちは日常生活においてその霊を悲しませるべきではありません (エペソ 4:30. 詩 42:5, 8, 11) :

XI. わたしたちは彼の愛の中に住むことによって、キリストの中に住んで、彼はわたしたちの中に住みます——ヨハネ 21:15-17. 15:10 :

A. すべての戒めは二つに要約されます。それは神の御子、イエス・キリストの御名を信じることと、互いに愛し合うことです——I ヨハネ 3:23-24. ヨハネ 13:34-35。

B. 兄弟愛に関する戒めは古くもあり、新しくもあります。古いのは、信者たちが彼らの

クリスチャン生活の初期からそれを持っているからです。新しいのは、それが信者たちのクリスチャンの歩みにおいて、新しい光をもって輝き、何度も新しい照らしと新鮮な力をもって輝くからです—— I ヨハネ 2:7-8。

C. 「わたしたちは、神がわたしたちの中で持つておられる愛を知っており、また信じています。神は愛です。愛の中に住んでいる者は神の中に住んでおり、神も彼の中に住んでおられます。こうして、愛はわたしたちの中で全うされました。それは、わたしたちが裁きの日に大胆さを持つためです。なぜなら、彼がそうであるように、わたしたちもこの世でそうであるからです」—— 4:16-17。

1. 愛の中に住むとは神ご自身である愛をもって習慣的に他の人たちを愛し、彼がわたしたちの中で表現されるためです。

2. ここの「大胆さ」は、わたしたちがキリストの裁きの座での裁きに直面することです—— II コリント 5:10。

3. キリストはこの世で愛としての神の命を生きました。彼は今やわたしたちの命です。それはわたしたちがこの世で同じ愛の命を生き、彼であるのと同じになるためです。

XII. キリストの中に住み、彼をわたしたちの住まいとし、彼にわたしたちの中に住んでいただき、わたしたちを彼の住まいとしていただくことは、贖われ再生された信者たちと共に、手順を経て究極的に完成された三一の神の宇宙的な合併の実際の中に生きることです——ヨハネ14:2, 10-11, 17, 20, 23 :

A. 新エルサレムは、再生され、聖別され、更新され、造り変えられ、同形化され、栄光化された三部分から成る召会と、手順を経て究極的に完成された三一との神の究極の合併です——啓 21:3, 22。

B. 新エルサレムは、神の幕屋です。幕屋の中心は隠されたマナとしてのキリストです。この宇宙的な、神性と人性の合併、すなわち、神と人との相互の住まいの中へと合併される方法は、隠されたマナとしてのキリストを食べることです—— 3 節. 出 16:32-34. ヘブル 9:4. 啓 2:17。